

1. 件名：新検査制度の運用に関する北海道電力株式会社（泊発電所）との面談

2. 日時：令和3年10月15日（金）10：00～11：30

3. 場所：北海道電力株式会社泊発電所会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 古金谷課長、岸岡上席検査監視官

泊原子力規制事務所 森園所長、吉田検査官

北海道電力株式会社

泊発電所 坂本所長 他24名

5. 要旨

北海道電力株式会社（以下「北海道電力」という。）泊発電所職員と新検査制度の運用について意見交換を行った。

北海道電力から、泊発電所において新検査制度への対応が順調に進んでおり、その有効性を実感しているとの説明があった。また、新検査制度導入に伴い開始した是正措置プログラム、リスクマネジメント、コンフィグレーションマネジメント、新たな教育プログラムの取り組み状況について紹介があった。

原子力規制庁からは、検査官活動において効率的な情報収集が必須であることから、コミュニケーションの効率化及び事業者の文書類へのアクセス性の向上に関して要望を述べた。また検査活動の動向として、共通要因故障を引き起こす可能性がある火災防護及び溢水防護への一層の注力、及び核物質防護に関する検査体制の強化について説明した。

6. 配布資料

なし